

吉野川 水道水ができるまでと、その大切さ

徳島市指定上下水道工事店協同組合青年部

- 担当役員 長江将史
- 実施日 平成17年6月5日(日)
- 参加者 550名【青年部会員20名 水道局職員の方100名
地元中学校吹奏学部50名 地域住民の方380名】

この度、全管連青年部協議会の環境問題研究事業「エコ倶楽部探検隊」に賛同する形として、去る6月5日(日)に徳島市水道局が主催する“浄水場一日開放事業”に協賛し、局の方々と共に一つの事業を盛り上げ、創り上げました。

開催場所である“第十浄水場”は、四国を流れる吉野川流域にあり、徳島市の水道の約95%をまかなう施設であります。その中で参加者は、水道局職員の方の案内で、急速ろ過池、浄水池などを見て回り、一日見学を行いました。

当日は、水道局職員の方約100名、当青年部会員20名にて行い、家族連れら約380人の地域住民の方々に参加していただく事が出来、普段見る事のできない「水のとできると

ころ」を見学するチャンスでありました。

まず、徳島市長挨拶にて始まり、徳島市立加茂名中学校の吹奏学部によるオープニングコンサートにて幕が開き、楽しいイベントも盛りだくさん企画しました。

その一つとして、水道管(塩ビ管、継手、パッキン等)で、当青年部が設計開発した水鉄砲のキットを組立てました。そして、子供たちは自分だけの水鉄砲にするため、絵を描いての工作や、作った水鉄砲での的当てゲームをしました。その他、水道パッキン取替え実演コーナー、風船ヨーヨー釣り、少林寺拳法の演武・キックミット、ストラックアウト等も行い、参加した親子が一緒になって楽しんでもらうことができました。

そうした一日の中で、地域住民の方に、吉野川の表流水などが、水道水になるまでの流れを学んだり、考えたり、関心を持ってもらえたことが、我々としても大変満足する事業となりました。

参加した小学生からは「いつも使っている水がどうやって出来るかよく分かった」という声を聞くこともできました。

今後も、一人でも多くの方々に、水道水の大切さ、水道水ができるまでを理解していただけるように、当青年部も活動を継続していきます。



水道管による水鉄砲組立



吉野川(四国三郎)第十堰



事業風景